

【事業名】 電動車載蓄電池の診断評価エコシステム構築

事業者名：ゴイク電池株式会社、株式会社日本総合研究所

実施期間：令和5年8月～令和6年2月

1. 事業の背景・目的

電動車両の電池容量を短時間で計測することにより、客観評価の方法がなく低迷する中古電動車市場の拡大、電池の循環価値向上による海外流出抑制などの課題を解決し、市場成長を促す車載電池の循環エコシステムを構築し、さらには動脈と合わせた製品エコシステムの形成に資する仕組みの構築を目指す。その中でも本事業では、①小規模な中古売買事業者等が利用でき、客観的な評価が可能な安価で低負担にて、様々な環境下においても使いやすい計測装置の量産機の開発。②多様な中古車の診断試験によって、保険事業者が診断技術の評価可能となるデータを取得して保証評価の統計モデルを構築し、大手保険事業者と診断・保証サービスを策定。③診断技術の信頼性をデータによって証明し、利用者へ納得感を与える事が可能な基準案を中古流通事業者と策定。これらを実現することにより、車載電池の循環エコシステムの構築を加速させる。

構築された車載電池の循環エコシステムは、情報プラットフォームを共通基盤として、車両利用時からリユースまで様々な事業者が連携して電池や電動車さらにCO2削減効果、エネルギー利用、循環資源の価値を顕在化して各種サービスとともに市場流通することで、国際競争力のある成長市場を形成することに貢献する。

2. 補助事業の概要

- ・ 診断機開発 診断システム構築



図1 診断機

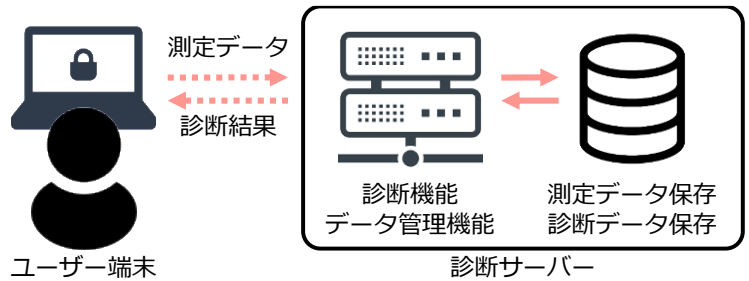


図2 ネットワークを用いた診断システム

- ・ 車載電池の循環市場形成における本事業の位置づけ

